

令和3年度

きのくにコミュニティスクールの推進に係る研修会（紀北会場）まとめ

日時：令和3年11月1日（月）13:10～16:30 参加者：会場 44名

場所：和歌山市北コミュニティセンター オンライン 26名

テーマ：「できるときに！できることを！できるだけ！」

～実際の活動から、コミュニティ・スクールの可能性を探る～

講演「コミュニティ・スクールを土台とした南部町の教育」

文部科学省CSマイスター 鳥取県南部町教育委員会教育長 福田 範史 氏

1. 今なぜ、学校と地域の連携・協働が求められているのか

家にいるだけでなんでもできてしまう今の社会は大変便利になっている。



子供にとって育ちやすい社会なのか。

やってはいけないこと、進んでしたらいいことはネットでは教えてもらえない。

自分での判断が求められる。



OK



Let's

地域だけ
学校だけ
行政だけ



一緒にやっっていく

CS導入がゴールではない
地域の子供への思いが目標の1つ

2. コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進



CS導入で得られたメリットを体験



双方向性（学校と地域がともに魅力を高める視点）
対等性（地域社会が教育の当事者として役割・責任を果たす視点）

保護者が
変わる

子供たち
が変わる

学校が
変わる

地域が
変わる

「学校・家庭・地域」お互いどう関わっていくかが大事
【支援】（支え援助する）

↓
【連携】（もともとやっていることを変えず協力関係を持つ）

↓
【協働】（一緒に作り上げていく）

学校と地域による協働の基盤が作られていますか？
時々振り返ってチェックを！
H26文部科学省委託事業「学校の総合マネジメント
力の強化に関する調査研究」チェックシート

3. 南部町の取り組み

きっと誰かがしてくれる→住民主体のまちづくりの時代へ



共通の目標を持つ

学校・地域が貸し借りの関係になっているといずれ負担につながる

子供のために大人が知恵を絞って
時を支え 地域を支え

自分たちの幸せを実現できる地域を作れるか

地域住民が地域の未来を託す・将来の町づくりを担う子供達を
主体的に育てている

住民主体の町づくり
CSはその手段の一つである



実践発表

橋本市立城山小学校 学校運営協議会 会長 浅井 徹 氏

組織と活動方針



学校運営協議会の特性

- 学校も地域もWin・Winのまちづくり（開かれた学校づくり）
- 児童のためのサポート隊編成（多様なボランティア人材確保）
- ESD土曜講座部会創設（三世代交流の場づくり 『地域の先生』を増やし、持続可能な未来教育）

部会について
幅広く人材を集められる
学校・家庭・地域の一体感を得られる

犬の散歩の
ついでに（見守り）
気楽に楽しむ

共通の課題設定は
みんながわかりやすいものに

学校・家庭・地域（社会）のベクトル合わせが難しい

地域が学校に
入り込みすぎない

学校も地域に
入り込みすぎない

パネルディスカッション

パネリスト 浅井 徹氏 伊藤 松枝氏 大浦 俊一氏 下田 喜久恵氏
コーディネーター
大谷 裕美子氏

○実践発表をうけて

- 地域と関わることで挨拶・礼儀が整ってきた例もある
- 地域とともにある学校は子供が笑顔になれる活動であるのかが要

○育てたい子供像について

- 子供と地域と一緒に学ぶ 子供が地域の良さを知る機会
- 子供は地域の宝 宝は地域で守り育てる 仮想空間ではなく地域で役に立ったという経験をさせたい
- 実践発表でもあったように目標・ビジョンを持つことは重要事項 春からすぐに動き出せる層の厚さが素晴らしい



○協働のチェックシートで振り返りを図りながら進めていく

- コミスク算 + - × ÷
- + タスけあう 大きな力に
- ヒキうけると 大きな喜びが生まれる
- × 声をカケると 一つになれる
- ÷ かかワルと 笑顔が返ってくる

• AIの発達に伴い共存していく必要がある

子供たちの生きる力を育むために教科を横断して様々な視点を養う必要がある。
地域との対話から地域の方々の方々の様々な知恵をもらう それが地域の教材化であり、地域との結びつきが生まれ、地域の活性化につながる



藤田 直子氏

共育コミュニティとの整合性を 両輪で進めるべき。

「共有」：学校運営協議会、校長の思いを大切に

「協働」：主体的に考える。共有して実現する

どの可能性が実現されるのかを

共有して協働する。

地域に生まれ、地域に育つ子供たち。

地域が自分たちのために、

動いてくれた経験が、

感謝の思いを生み、

貸し借りではない必然が生まれた。



福田 範史氏

「すぐやる部会」があればいいと思っている。

協議会については、前年度末に方向を決めておき、新年度が始まればすぐに開始できる仕組みも有効。

義務教育の9年を学校に全てを託すのではなく、地域が持つ力で学校と協働することが大切。

CSに取り組む地域の大人として、子供たちに何を伝えたいのか、どう育ててほしいのかを一緒にかつ明確に目標を立てることが大事。

全ては「子供が笑顔になること」につながる。

たくさんの地域の方々が共通の目標を持ち、

やっていく覚悟をもって取り組みたい。

今日学んだことを地域に帰って

つぶやいていくことでCSは広がりを見せる。

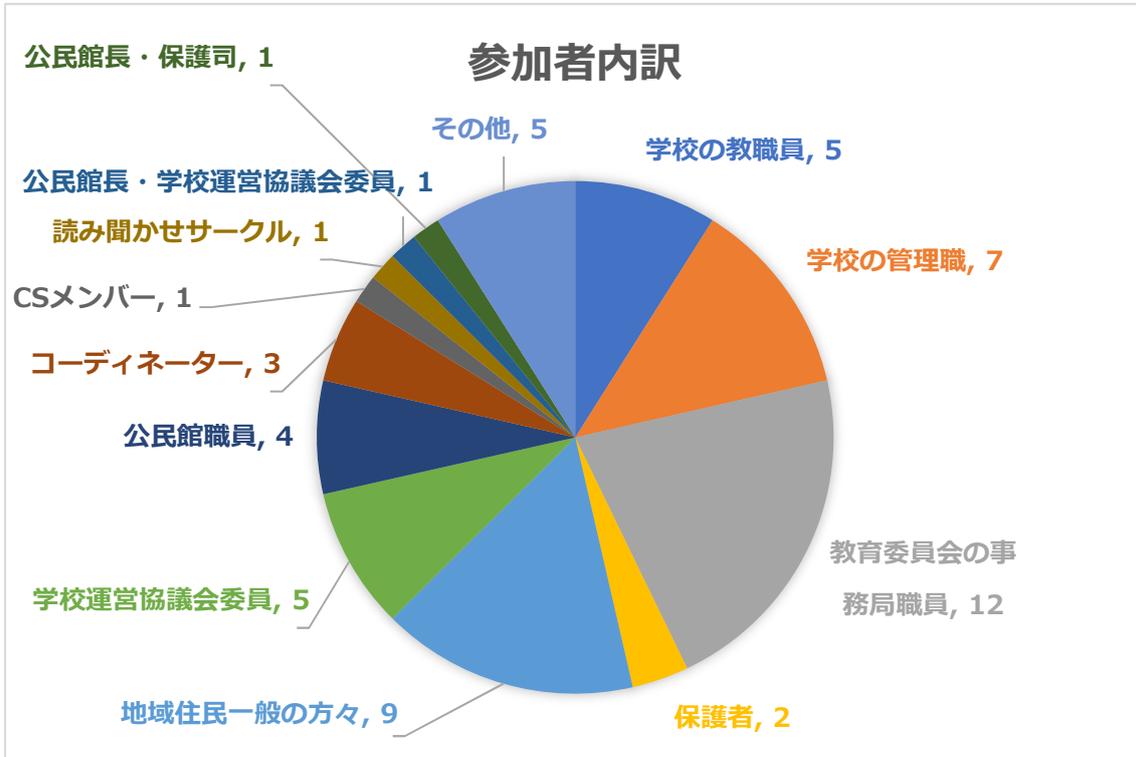
ぜひ地域が地域の子供を

育てられる環境を作ってください。



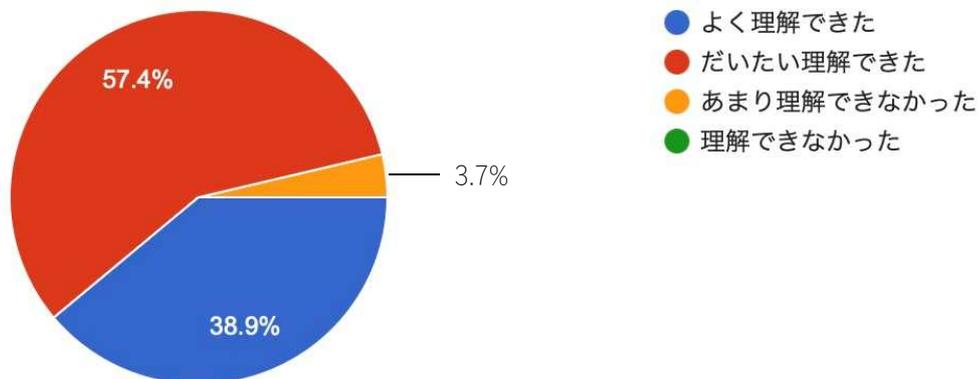
令和3年度きのくにコミュニティスクールの推進に係る研修会（紀北会場）

1. 参加者内訳

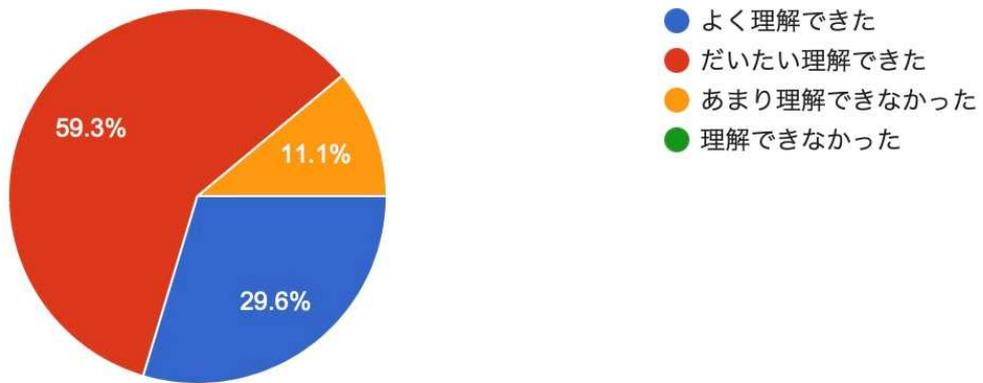


2. 本日の研修会に参加して、もっとも近いもの

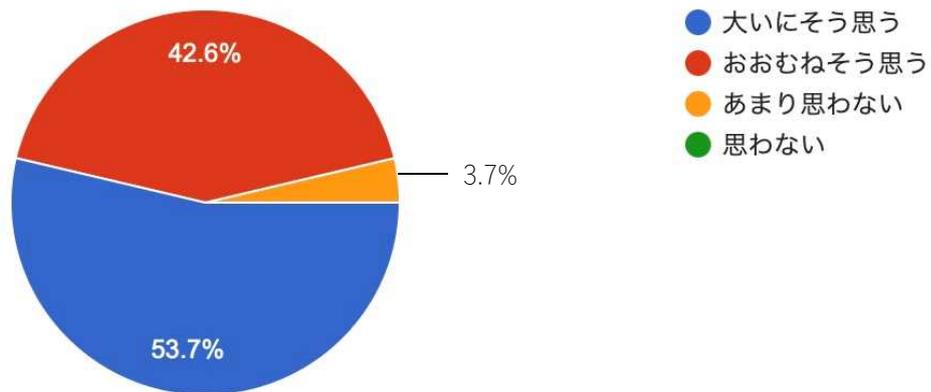
(1) 学校運営協議会制度について理解できた。



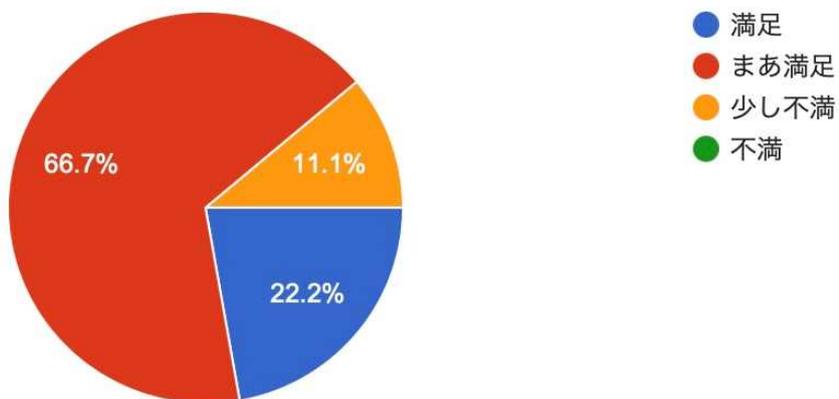
(2) 地域学校協働活動、地域学校協働本部について理解できた。



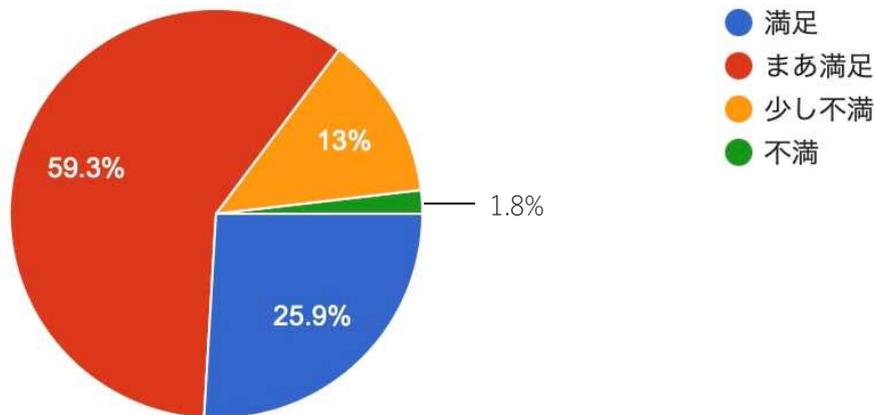
(3) 講演等を聞いて、コミュニティ・スクール、地域学校協働活動を一層推進しようと思う。



(4) 実践発表、パネルディスカッションの時間配分、内容。



(5) 熟議の時間配分、内容。



3. 皆様の御意見（抜粋）

- ・ 予定されていたとは思いますが、実際は熟議時間が短かったです。
- ・ 城山小学校の取組はとても参考になりました。自分の学校での運営協議会の取組に入れていきます。特に土曜講座について、地域のネットワークを生かして進められたらと思いました。
- ・ 南部町教育長様のお話はとても分かりやすかったです。目的や意味をもう一度考える機会となりました。オンラインの参加でしたので熟議についてはなんとも言えないところもありますが、あったらいいと思う部会を考えることで何を意図されていたのが少しわかりにくかったです。
- ・ 本日は大変貴重なお話を聞かせていただきありがとうございました。本校の実践に生かしていきたいと感じました。
- ・ 熟議で、結構話し合いが楽しかったので、時間がもっとほしかったです。地域とのつながり、コミュニケーションの取組が、子供達の人間性の成長に役立つものと信じて、活動していきたいと思いました。
- ・ 講演の話が早すぎた。非常に残念です。
- ・ 今回、参加させてもらって、協議で話し合うこととして、「こんな部会があれば」というのは、大変良かったです。熟議の時間をもう少し長くしてほしいですが、楽しかったです。早速、考えて色々な部会を設立して学校運営協議会に提案して、熟議していきたいです。「子供文化祭を地域の方々に親子で楽しめる方法を考える部会」
- ・ お菓子部会…お月見団子等を作り、月見の言われ等の説明もして文化を伝えていきたい。

- ・当市の学校運営協議会、地域学校協働活動も南部町の取組での3-④停滞期にまさにあると感じている。個別の学校や地域では、特徴的な新しい取組について実践が見られるが、形骸化しそうなところもある。3-⑤転換期からの話をもっと詳しく聞きたかった。できれば担当レベルで。
- ・「花を植えよう部会」「散歩をしよう部会」
- ・地道に取り組みられて成果の見られた地域の生のお声をお聞きできてよかったです。オンラインの参加も可でしたので、移動時間もかからず、参加しやすかったです。ありがとうございました。
- ・オンラインでの講演会なので仕方ないのかもしれませんが、聞こえにくくて集中して聞きにくかったです。地域の方と学校のパイプ役のようになれば良いなと思いました。
- ・ありがとうございました。地域学校協働活動についても、今後本日の内容を生かしていきたいです。
- ・南部町の福田範史先生のお話をお聞きする中で、継続的、組織的な取組の大切さに気付かされました。特に年長から10年を見通した取組や18歳から39歳までの青年組織との連携など新たなヒントをいただきました。城山小学校の実践については、4つの部会と実践部隊という組織の構成が、大変参考になりました。教育と福祉を中心にしたまちづくりというビジョンも分かりやすく、1つの目標に向かって組織的に動きやすいと感じました。かけはしとしての公民館の役割、バス通学でのお年寄りとの交流、協議でのホワイトボードの活用（目標の掲示）など、いいお話が聞けました。PR部会もいいですね。ありがとうございました。
- ・オンラインでの研修で、発表者により非常に聞き取りにくい方がいらっしまったので、内容の理解度が低いように感じた。残念である。
- ・「協働チェックシート」が大変参考になりました。熟議の時間に、他の方の意見を聞くことで自分も活性化されて、アイデアが出てくるという貴重な体験をさせていただきました。ありがとうございました。
- ・前回の有田のコミスクのフォーラムを受けて、運営協議会委員として動かなくてはと思い、図書ボランティアを地域から募集をかけ、まだ活動はできていないのですが、やり始めています。まだまだ、自分たちが活動すると考え方が薄く、どこかに働きかけ、良い方向性に持っていくのが委員なのだと思っている人が多いので、なかなか難しいのですが一歩ずつやっていきたいと思います。週1回図書の貸し出し、整理をし、定期的に読み聞かせや朗読、紙芝居等子供達にも参加してもらい活動していきたいと思います。

- ・学校運営協議会は事務局としては直接現場に参加しない為、イメージし辛いものだったのですが、今回仕組み、事例を聴き、少しコミュニティスクールというものを少し理解できました。ありがとうございました。
- ・リモートで音声聞きづらかった。①コミュニティ・スクール（学校運営協議会）が必要になってきていると思った。②城山小学校の例について、ボランティア活動なので、気楽に楽しんで継続できれば大人も子供にも良い結果が出ると思います。子供達のために、組織を作り、各団体の方に協力してもらい、実行していく力がすばらしいです。
- ・「平日、学校で子供達が会う人が限られていること」というお話に、はっとさせられました。確かに保護者としては色々な人と関わり、色々な人から刺激を受けて大きくなってほしいと思っていますので、地域の人々がどんどん関わってほしいと思います。本音トークが大事であり、楽しかったです。先生方、職員の皆様ありがとうございました。
- ・PR 部会、本校でも作れたらいいなと思いました。日頃の取組、皆さんが考えていることを共有することが、まず大切だと思います。できる人が、できる時に、できることを、少しずつ共に進めていけたらと思いました。
- ・話し合いの中、部会という中で、地域貢献という話がありまして、子供達から地域へ出ていくということで、人との関わりを大切にできると思いました。
- ・リモートでは声が聞き取りづらかった。
- ・コミュニティ・スクールの研修会、参加する前は正直なんとなく理解していたつもりでしたが、皆さんのお話（特に実践例）をお聞きし、より具体的な形で理解することができました。自分ならどう進めていくのか、しっかり考えて自分の学校で実践できればと思いました。・熟議「あったらいいな！こんな部会～」「たようせい（多様性）部会」←あえて親しみやすくひらがなで。障がいのある、なしを越えて、もっと気楽に自分のこと（悩み、困り事など）を話したり、活動したり、相談ができる場所があれば良いと思います。特に障がいについての理解を深める場として。
- ・パネルディスカッションの音声の調子が悪く、内容が聞き取れない部分が多かった。城山小学校の運営は1つの形として参考にしたい。
- ・実践発表、パネルディスカッション、熟議の時間が短かった。福田氏のお話からたくさんヒントをいただきました。ありがとうございました。“護身術”という名目で、命の大切さやその命を守る技術を幼小中で実施し、また地域では親子での練習を週3回する中で学校・家庭・地域の良い関係ができつつあります。何より私自身が、一番楽しませていただき、幸せを感じています。先週は孫娘の通う沖縄での山田小

学校で実施しました。その様子を HP にあげていただきました。社会や学校も同じですが、上に立つ人の考え方がすべてを左右すると言っていいほど、重要だと感じています。

- ・ハイブリッド式ということで、ご迷惑をおかけしたかもしれません。地元で研修が受けられるということで、参加してくれた方もたくさんいました。
- ・お聞きできた皆さんの事例がすばらしく、元気が出て、自分の地域での問題点が分かってきました。できることからやっていきたいなと感じています。 ・私の考えた部会ですが、今一番、気になっていること「ボランティア部会」です。地域として、子供達のやりたい事を受け入れてあげられる地域の組織をしっかりしたものにしていきたいです。最後のまとめをお聞きして、元気が出ました！ありがとうございました！
- ・協働の目的や会議の時期、部会の整理などみんなが let's で取り組めるように見える化が大切だと感じました。サポートベストのお金の出所や部会を上手く運営するための仕組みなどが知れると嬉しいです。 あったらイイなこんな部会は、①SDGs リサイクル部会 不要になったものや売り物にできなかったものを再利用して地域で助け合う ②こんなことができます部会 得意なことや学習で身につけたことをリーフレット等で伝えて実践に繋げる ③マチコミ部会 日時、場所、内容やゴミが多くて困っているなどをマチコミメールで3方向から配信して興味をもったり、対応したりして助け合う などを考えました。 貴重な話をありがとうございました。 もっとたくさんの人に聞いて欲しいと思いました。
- ・大変勉強になりました。11/14 の運営協議会で話題にしたいと思います。
- ・現在関わっている学校での活動は、学校から依頼されたことだけでした。以前、地域のことを知ることを大切さを提案したことがありましたが、「時間がありません」と断られました。城山小地区、ふるさと学習を聞いて、ふるさとへの愛着の大切さ、大いに同意しました。再度、学校にお願いしてみようと思います。教科はもちろんのこと、いろんな事を楽しむ教師を希望します。
- ・多様な体験を拝聴できまして、勉強になりました。今後の実践に生かしたいと思います。ただ、オンラインのため音声ははっきりしなかったもので、悲しく思いました。これからも多様性、AI、人権…等考えた CS が大事ですね。本日はありがとうございました。
- ・年々人口が少なくなり児童数も約 120 名の小学校です。70 歳～90 歳の人口は多いのですが、なかなか地域ボランティアに参加してもらうことが困難になっています。70 歳未満の人は、仕事をしているのでこれも参加困難です。その中で図書ボランティアは毎週来てくれるし、ミシン・調理・マラソン・町探検など同じ人にならないよ

うに色々な人に協力してもらっています。学校側は少しずつ開いてくれていますが、もっと地域の人々が子供達を受け入れる体制を作っていきたい。できるときに、できることを、できるだけから始めたいと思います。良い機会をありがとうございました。

- ・スムーズなオンライン配信でした。オンライン用マイクがもう一本あればもっとスムーズだったのかもしれませんが。ありがとうございました。
- ・講演でお聞きしました福田先生の「コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進」で「開かれた学校から地域とともにある学校へ」を拝聴し、学校運営協議会もステップアップし、更なる win&win のまちづくりを目指したく思いました。
- ・短時間に濃い内容を分かりやすく話していただき、大変勉強になりました。何年かコーディネーターをしながら、疑問に思っていたことが解決された講演でした。特に締めくくりに「ふるさと」の歌詞を引用された「この町でどう活躍し、発信していくのか」「ふるさとで志を果たす…」のお話は特に心に残りました。
- ・とても良い研修会でした。この制度を広く広報して、発展することを願っています。
- ・本日は内容の濃いプログラムをありがとうございました。とても参考になりました。また、自分の所属している学校運営協議会に反映していきたいと思います。これは仕方のない事だと思いますが、プロジェクターの字が見えにくかったのと、パネルディスカッションの時、舞台も明るくしてほしかったなと思いました。
- ・参加して思ったことは、どの学校も地域とつながった取組がコミュニティ・スクール等の以前からあるのではと思いました。学校がもう少しゆとりを持つことでは、これがとても重要だと思います。授業時間数、教科書、テストなどに追われている状況では難しいでしょう。素敵な取組を行うためには、小さな学校がキーワードでは、
 - ・学校の要望を地域に。「地域探検部会」というのも出ました。こういったものを取り組めるゆったりとした学校であってほしいです。
- ・素晴らしい発表でしたが、時間が短かったからか、とても早く進んでしまったのが残念でした。もう少しゆっくり聞きたかったです。あつたらいいなこんな部会では、部会を考える以前の問題で、そもそも教職員の方がコミスクを理解していないように思うという意見がありました。確かにと感じてしまいました。学校運営協議会が活発に可動するためには、先生方の理解がとても大切ですので。
- ・校種によって地域との関係が取りにくい状況である。小中は、地域は子供が生まれ育った環境にあるが、高校、特別支援学校は地域との連携関係を持つことは難しい。特に都市部の高校では、同一地域に複数校存在するため、学校の特性を十分理解してくれる地域の人々を委員として選出するのに苦労しています。

- ・ 音声が聞き取りにくかった。
- ・ 城山小学校の運営協議会の発表は具体的でよく分かり、参考になった。間もなく運営協議会が開かれるのでお話ししたいと思います。 後で作ったグループの話し合いは、時間が足りなかったのは残念。
- ・ 南部町の青年団、高校生にまで取組が広がっているのに感心しました。

4. 熟議で出された学校運営協議会の活動部会

- ・ P R 部会
- ・ ふれあい部会
- ・ おもちゃのお医者さん部会
- ・ 地域とつなごう部会
- ・ あそび部会